

スラバヤ市内への進入制限について

令和2年3月31日

1 新型コロナウイルス感染症の蔓延防止対策として、スラバヤ市は、同市内へのアクセスとなる以下の19箇所において、スラバヤ市内への進入の必要性に関する検問を行うと発表しました。

- (1) Stadion Gelora Bung Tomo (Pakal),
- (2) Terminal Tambak Oso (Benowo),
- (3) Dupak Rukun (Asemrowo)
- (4) Kodikal (Pabean)
- (5) Mayjen rumah pompa (Dukuh Pakis)
- (6) Gunungsari (Jambangan)
- (7) Kelurahan Kedurus (Karang Pilang)
- (8) Masjid Agung (Kec. Gayungan)
- (9) Jeruk (Lakarsantri)
- (10) Driyorejo,
- (11) Benowo Terminal (Pakal)
- (12) Tol Simo (Sukomanunggal)
- (13) Mal City of Tomorrow (Dishub)
- (14) MERR Gunung Anyar (Gunung Anyar)
- (15) Suramadu (Kec. Kenjeran)
- (16) Rungkut Menanggal (Gunung Anyar)
- (17) Wiguna Gunung Anyar Tambak (Gunung Anyar),
- (18) Margomulyo (Tandes)
- (19) Pondok Chandra (Gunung Anyar)

2 検問においては、スラバヤ市の車両番号(先頭がL)や身分証明書上の住民でない場合、急務(医療関係者や公務、生活必需品の運搬など)でないと判断された場合は進入が制限されます。

3 また、例えば東ジャワ州マラン県でも、同県に感染地域から入る住民に14日間の自主検疫を求めるなどしており、他の県・市においても随時同様の制限が課される可能性も排除できません。

4 30 日時点、東ジャワ州の新型コロナウイルス感染症陽性患者数は、91 人(うち回復 16 人、死亡 8 人)となっております。不要不急の外出を避けるなど、感染防止に十分留意してください。